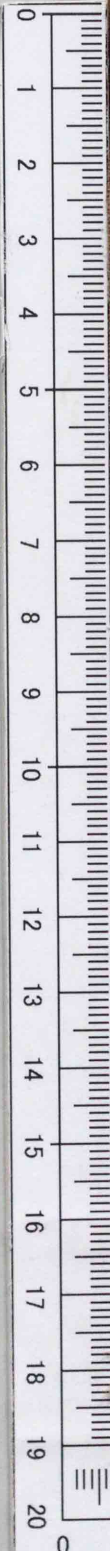
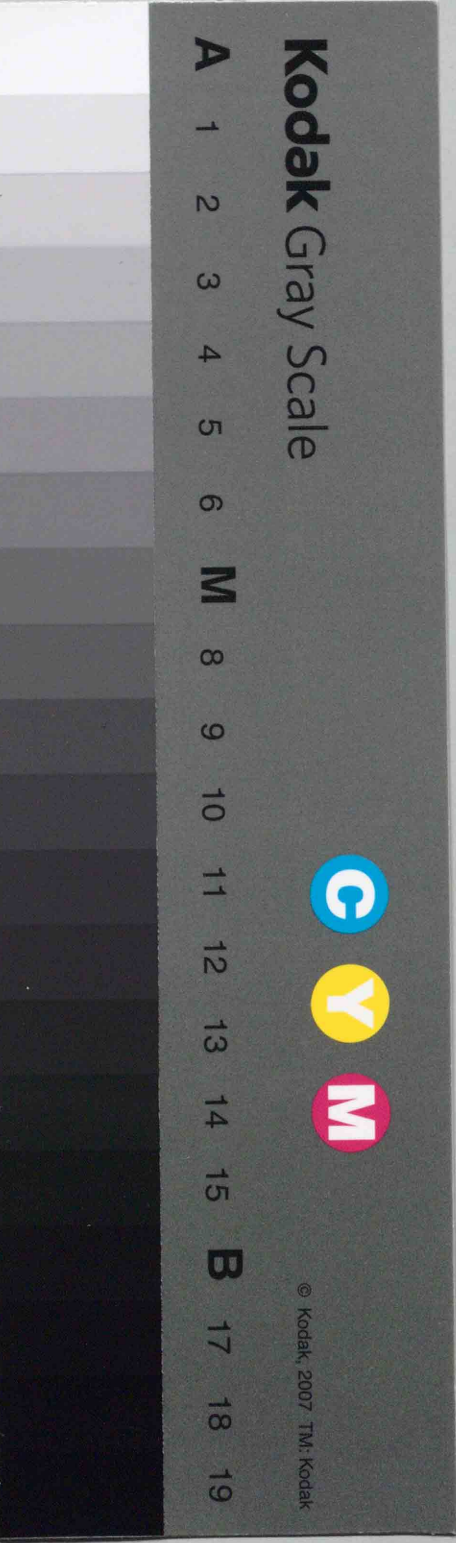
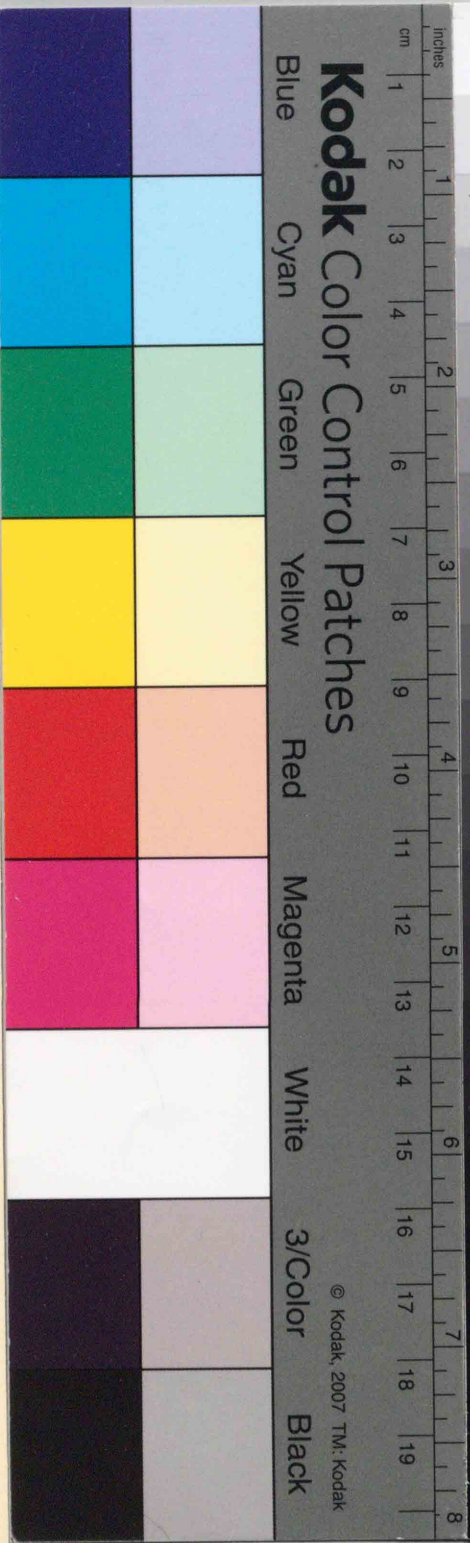


41059

教科書文庫

4
760
52-1933
01304 49393

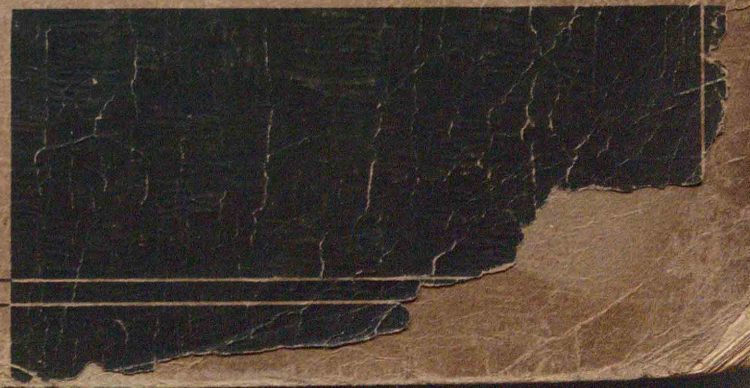


標準女子音樂教科書

朝 隆 幸
 朗 一 光
 黑 沢 小 川 林
 共 編



第二編



中央図書館

標準
女子音楽教科書

第二編

朝朗光編
隆一幸共編
澤川林

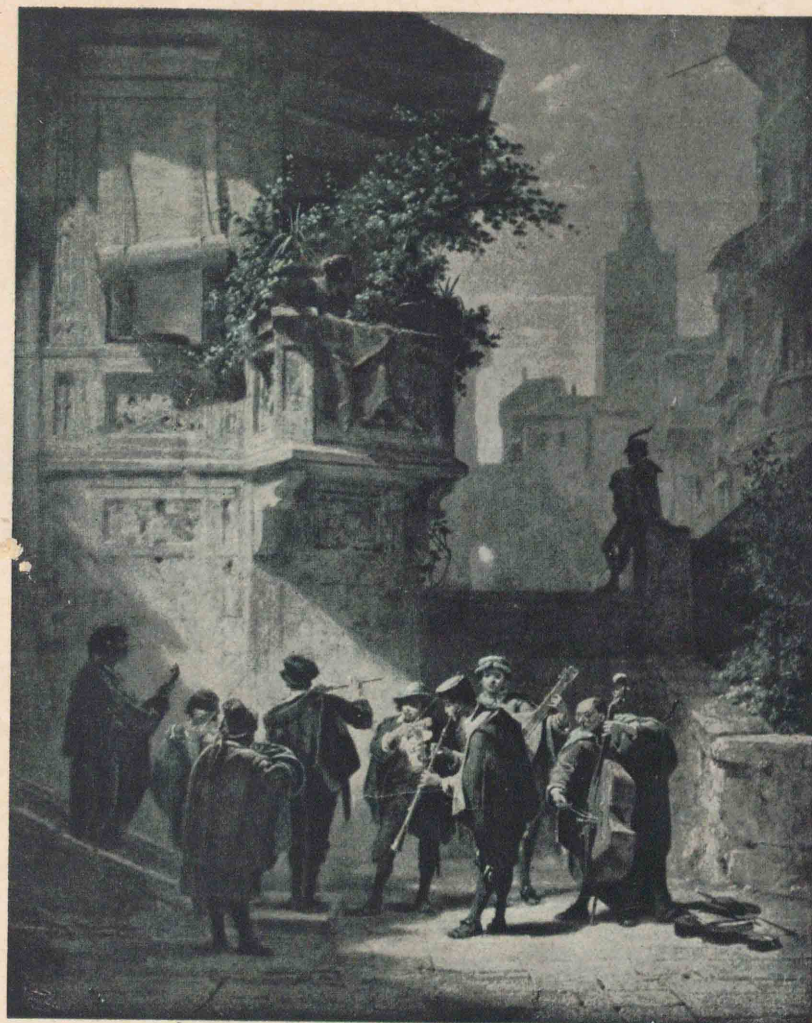
文部省検定済（昭和八年三月一日）（師範學校・高等女學校音楽科）

東京
共益商社書店發行

広島大学図書

0130449393





セレナーヂ

木管楽器の奏法



クラリネット



オーボエ



ファゴット



イングリッシュホルン



ベースフルート

木管楽器のいろいろ



1. ファゴット 2. オーボエ 3. バスクラリネット 4. バセットホルン 5. クラリネット
6. 舊式フルイート 7. サクソフーン 8. イングリッシュホルン 9. ベームフルイート

巻頭のことは

本書は文部省の音楽教授要目に準據して現代の女子師範學校、並に高等女學校の音楽教科書として編纂されたものである。

本教科書の特長として擧げる事の出来るのは次の諸點で之等は行詰まれる音楽教育界に必ずや偉大なる貢獻を齎すべきことを堅く信ずるものである。

一 歌曲の形式は一々重要な任務を持ち易より難に極めて自然に配列せられてゐる。

歌曲の配列に當つては常々樂典知識の進歩と併進せしめる事に努め、音符の形態、リズムの形式、拍子、調等のあらゆる事項について極めて綿密に考察せられ、前後よく連絡を保つてゐる。

二 歌曲にはなるだけ伴奏をつけ生徒の音楽的陶冶に便してゐる。

言ふまでもなく音楽科に於ける歌曲教授は聲樂的訓練をその目的の全部とするものでなく、常にその歌曲を中心として能ふ限り音楽的陶冶をなすにあるのである。その意味からメロデイのみならず、常にハーモニーその他の音楽的條件を理解せしむる事に努力したのである。

三 歌曲の形式及び之に含まれる音楽的要素の理解をはかる爲めには基礎的練習、又は類似曲をあつめ之を参考曲又は鑑賞曲として縦横自在に徹底を期した。

練習曲は時間の都合で教授者の任意に待つものがあるが編者は最少限度と見て此等の練習曲を挿入したものである。又参考曲は正教材に準ずるもので容易に自學し得べきものを之にあてた。

四 鑑賞曲は理解程度に應じ、聲樂器樂を通じて次第に世界的名曲に及び國民教養に必要と思はるる樂曲は殆ど之を網羅

した。

之は本書の最も力を注いだ新生面で従來の音楽教育を唱歌教授の域から援ひたい意圖に出たものである。更に之を補ふ爲めに必要に應じ、次の二點に深甚なる考慮を拂つた。

五 曲の解説樂器の圖解、作曲者の評傳等は勿論、音楽理解に必要な圖形寫眞を惜みなく挿入した。

六 歌詞の一字一音は常にメロディの性質により極めて自然に音韻を配置した事。

之は従來殆んど顧みられざる一大缺陷であつた。此の考慮を缺く時は如何なる名歌詞も支離滅裂の誹を免れなかつた。

その他樂典の解説は徒らに條文的の無味乾燥に流れる事を避けたこと、練習曲等には各々その學習の要點を指摘する事につとめた。

本書に収録された樂曲は少數の編者作を除くの外は全部泰西の名曲で、然も日本の國民性に共鳴點の多いもののみを選び、之に諸家を煩はして前述の如き歌詞を新作したのである。

猶萬全を期して事に當つたのであるが未だ相補し相割く可き餘地の多々あることを信ずる。願くば道の爲めに大方の御叱正を乞ふ次第である。

終りに臨み鑑賞本位音楽陶冶主義に立脚して編纂した編者の意圖に賛同せられ、音楽教育更新の爲め本書の使命をして意義あらしめる様希望して止まない次第である。

昭和六年盛夏

編纂者識す

第二編

目次

一 ハ長調の復習	1
【参考曲】 Twinkle, Twinkle, Little Star.	
【鑑賞曲】 ワルツ	
若草の古戰場	2
二 ト長調の復習	3
【鑑賞曲】 ワルツ調	
三 ヘ長調の復習	4
【参考曲】 春の夜	
四 ニ長調の復習	5
【参考曲】 母のおもひ	
【鑑賞曲】 樂しき農夫	
五 變口長調の復習	6
【鑑賞曲】 カスタネットの歌(カルメンより)	
六 長音階の構成法	7
日本帝國	8
七 變ホ長調の復習	10
ブラームスの子守歌	10
(略傳) ブラームス	
白百合	12
【鑑賞曲】 眠りの精	
【鑑賞曲】 支那歌調	
【鑑賞曲】 イギリス歌調	
遠足	16
八 ホ長調の練習	18
【鑑賞曲】 マンドリンの歌	
サンタ・ルチア	20
九 八分の六拍子の練習	22
【参考曲】 ロオレライ	
(略傳) ジルヘル	
深山路	24
【鑑賞曲】 歌劇「トラバトーレ」より	
【鑑賞曲】 歌劇「ボヘミアの少女」の歌調	
十 聲樂	27

聲樂—聲域—聲樂の諸型式—二重唱—三重唱—四重唱—五重唱—合唱—女聲合唱—
男聲合唱—混聲合唱—合唱曲

十一 二聲音の進行.....28
並進行—斜進行—反進行

十二 二部合唱の練習.....29
森に行かん.....31
虫に寄せて.....32
ボートの唄.....34
【参考曲】 Old Folks at Home.
(略傳) フォスター
(略傳) シューマン
【鑑賞曲】 トロイメライ
【鑑賞曲】 軍隊行進曲

十三 イ長調の練習.....39
【鑑賞曲】 歌劇「ノルマ」中の行進曲
【鑑賞曲】 歌劇「椿姫」より
【鑑賞曲】 「ピアノソナタ」の主題

樹陰の泉.....40
【参考曲】 惜時

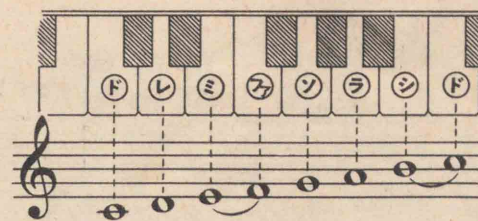
十四 四部輪唱の練習.....42
鳩と泉.....43
勉め勵め.....48

十五 短調の練習.....49
長調—短調—長音階—短音階—關係調—導音—樂曲と調—轉調

暮の鐘.....52
海國日本.....54

十六 樂典の智識.....56
一 譜表の組合せ
二 音高に變化を與へる記號
三 變位記號と鍵盤
四 切分音 (シンコペーション)
五 強弱を示す標語及び記號
六 メトロノームと速度標語
七 拍節法
八 曲想に關する標語

一、ハ長調の復習



ハ長調長音階は「ハ」音を第一音とする長音階である。此の音階のすべての音は自然音のみで成立してゐる故、之を自然音階と言ふ。又音階の第一音をなす音を主調音と言ふ。

(原調 變口長調)

1 Carmer.

[参考曲]

(原調 へ長調)

2 Twinkle, Twinkle, Little Star Mozart.

1. Twin - kle, twin - kle, lit - tle star; How I won - der what you are,
2. When the blaz - ing sun is gone, When he noth - ing shines up - on,
Up a - bove the world so high, Like a dia - mond in the sky!
Then you show your lit - tle light, Twin - kle, twin - kle, all the night!

1.2. Twin - kle, twin - kle, lit - tle star, How I won - der what you are!

[鑑賞曲]

(原調 卜長調)

3 ワルツ (オトツ、9' 27)

若草の古戦場

Andantino. *mf* *p* スコットランド民謡

一、ワ カ ク サ ノ モ ユ ル ノ ニ ヲ カ ニ
 二、や た け び に し ろ は ひ を あ び て
 三、ツ ユ オ ビ テ ア ケ ニ サ ク ハ ナ

ト リ ド リ ニ ニ ホ フ ハ ナ ノ イ
 と き の コ 忍 あ め つ ち に ふ る
 モ ノ ノ フ ノ チ シ ホ ノ イ ノ チ カ

ム カ シ ノ カ ゲ ヲ ツ 一 ユ モ ト メ ズ
 し の ら の の ち ま た か や ま な す か い ば ね
 ノ ズ エ ノ ハ テ ニ コ ケ ム ス カ シ ヤ

a tempo *mf* *p*

へ イ ワ ノ ヒ ハ ハ ル ノ ソ ラ ニ ミ ツ
 う ら み つ き じ ゃ じ ゃ じ ゃ じ ゃ じ ゃ じ ゃ
 ム カ シ カ タ ル ヤ カ タ ノ イ シ ズ エ

三 露おびて 朱に咲く花は
 武士の血潮の生命か
 野末の涯に 苔むす石や
 往古語る 館の礎

二 矢たけびに城は兵燹を浴びて
 関の聲 乾坤にふるふ
 修羅の巷か 山なす屍
 恨つきじ 若き武士の

一 若草の燃ゆる 野に丘に
 とりどりに 匂ふ花の色
 昔の影を 露もとめず
 平和の陽は 春の空に充つ。

若草の古戦場

水田詩仙

二、ト長調の復習

ト長音階は「ト」音を第一音とする長音階で常に「ヘ」音を半音上げて此の音階の第七音とする。長音階の第七音は常に主調音に導かれる位置にあるを以て之を導音と稱へ、主調音と半音程をなす。

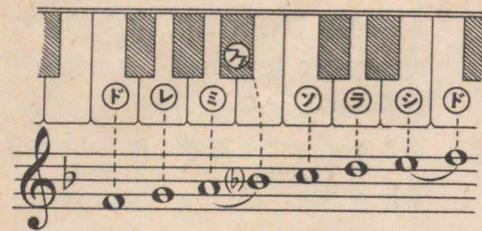
(鑑賞曲)

ワルツ調

F. Lehar.

Moderato. *cresc.* *dim.*

三、ヘ長調の復習



ヘ長音階は「ヘ」音を主調音とする長音階で、常に第四音「ロ」を半音下降させて作る。之に用ひる變記號を音部記號の次に記載して調號とする。

ロシア國民歌

Maestoso. A. Lwoff.

[参考曲] 春の夜

(小學唱歌集より) F. Harrison.

一. カ ス ミ ニ キ ャ ャ ル カ リ ガ ー ネ ー モ
二. と も し び と ー り て び か し の ひ と の

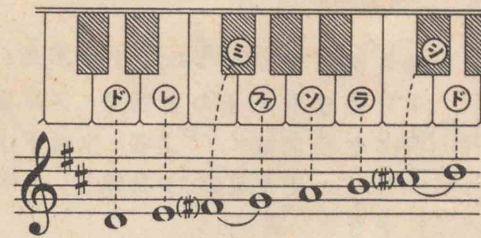
カ ス カ ニ ヒ ー ビ ク フ エ ノ ー ネ ー モ
あ そ び し よ ー は も か か り ー け ー ん

ヲ サ マ ル ミ ャ ノ ー シ ラ ベ ー ニ ー テ
よ は さ ま ざ ま ー と ー お も ひ ー し ー を

タ ノ シ キ ハ ー ル ノ ャ フ グ ー レ ー ヤ
む か し も い ー ま も か く さ き に ほ

ふ は な に ー は ー そ む く ひ と ぞ な き ー

四、ニ長調の復習



ニ長音階は「ニ」音を主調音とする長音階で、第三音「ヘ」と第七音「ハ」を嬰記號によつて各々半音上げて作られる。此の「ヘ」「ハ」に附けられる嬰記號を音部記號の次に記載してニ長調の調號とする。

[参考曲] 母のおもひ

(小學唱歌集より)

一. ハ ハ ノ オ モ ヒ ハ ソ ラ ニ ミ ー チ ャ ク ヘ モ シ
二. は は の な さ け の な で し こ ー よ つ ー ゆ な わ す

ラ ー ズ ハ テ モ ナ ー シ ツ キ ノ カ ツ ラ ー フ タ
れ ー そ め ぐ み を ー ば い へ を う つ す ー も そ

ヲ リ テ ー ズ イ へ ノ カ ー セ ラ バ フ カ セ ツ ー
だ て ぐ ー さ は た を き ー る さ へ を し へ ぐ ー

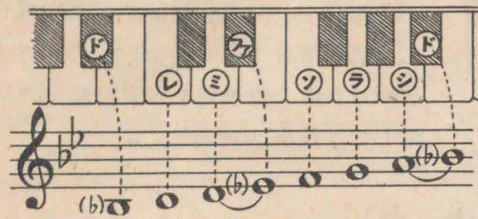
ル ア フ ー ゲ ア フ ー ゲ ハ ハ ノ ミ イ サ フ
さ し た ー へ し た ー へ は は の な さ け を

[鑑賞曲] 樂しき農夫

(原調ヘ長調)

R. Schumann

五、 變口長調の復習



變口長音階は「變口」音を主調音とする長音階で、その主調音と第四音「ホ」を變記號によつて各々半音下げて作る。變口長調は口長調より一体に半音低い調である。

11

[鑑賞曲]

カستاネットの歌(「カルメン」より)

Bizet.

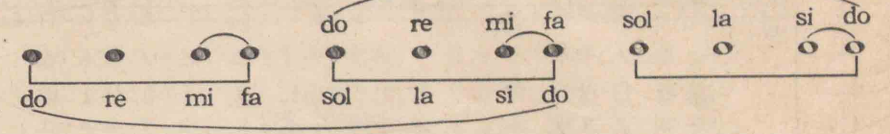
12

Allegretto. *mf* *f* *Fine* *f* D.C.

全半半

六 長音階構成法

音階ヲニ分すと四弦ヲニ分すとイフ。エシカカチヲス
 全半半ヲモタメレハ一アトラニ分ト一イフトハ半半ニイ
 テトニ分ト一アトラニ分ト一イフトハ半半ニイ
 間エハ、カチヲス全半半ヲ知。之の形を四弦(テトラコード)といふ。
 モウコレヲイフ。コレヲイフ。
 ニ分ト一アトラニ分ト一イフ。



此の第三の四弦を加へる事によつて新音階を作る。
 此の方法で新しい音階を構成して行く方法を音階構成法といふ。今ハ長調を基礎として上方にそれぞれ長音階を構成して見る。

ハ長調

ニ長調

ト長調

1.2の四弦でハ長調が構成せられ3の四弦はへ音をソニエカニオクストニ半音上げて作り、2.3の四弦でト長調が構成される。此の四弦で新長音階のへ音に變化を與へる嬰記號を譜首に出してト長調の調號とする。4の四弦はハを嬰ハとする事によつて作られ、3.4の四弦はニ長調を作り、ニ長調はへ、ハに嬰記號を附して調號とする。嬰記號を調號とする長音階を嬰種長音階といひト、ニ、イ、ホ、ロ、嬰へ、嬰ハ、の七調が此に屬する。四弦を下方に重複して構成する時は變種長音階を生ず。即ち3の四弦は口音を半音下げて作り、2.3の四弦でへ長調が構成される。かくして變口、變ホ、變イ、變ニ、變ト、變ハ、の七調が各々下方五度に作られる。

嬰種長音階

變種長音階

へ長調

ハ長調

變口長調

日本帝國

Allegro con spirito.

(ノルウェー國民歌)C. Blom.

一、ヒノモトト　　ソノナヲオヒ　ヒノゴトク　サカエ
二、あしはらの　なかつくには　ことだまの　さかえ
三、コノヨナル　　ホウライキョウト　ウチートニ　シルキ

ヒノマルヲ　ハタジルシニ　ヨモノウミヲ　テラス
みづほなす　たーりーほの　ことたるの　くになり
オホヤシマノ　ソノシマジマ　ハルアキノ　ヨソホヒ

コレゾワーガ　ミオヤノクニ　コレゾワガアレシクニ
これぞわーが　みおやのくに　これぞわがあれしくに
コレゾワーガ　ミオヤノクニ　コレゾワガアレシクニ

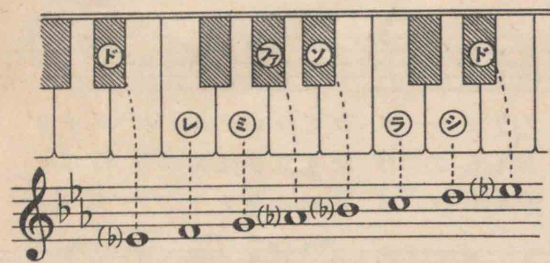
チュウカウイッタイ　クンシンフリノー　タグヒマレナル　クニナリ
とうやうせんしん　さんげふぶんくの　ひかりさきは　ふくになり
サンシスキメイ　フクウメイビノ　ヨニモルキナキ　ラクエン

三		二		一				
山	大	此	東	瑞	華	忠	日	日
紫	之	之	八	之	之	之	之	之
水	ぞ	ぞ	洲	の	先	之	丸	の
明	の	な	の	進	す	體	を	と
風	我	我	そ	る	産	我	中	我
光	が	が	の	産	業	が	垂	君
明	れ	祖	島	蓬	業	生	穂	國
媚	の	國	の	華	の	離	の	國
の	國	の	國	の	國	の	國	の
世	に	も	類	なき	樂	園		
春	秋	の	粧	ひ				
光	幸	は	ふ	國	なり			
外	に	し	る	き				
瑞	穂	の	國	なり				
華	原	の	國	なり				
忠	孝	の	體					
日	丸	の	名	を	負	ひ		
日	の	本	を	負	ひ			
日	丸	の	名	を	負	ひ		
日	丸	の	名	を	負	ひ		
日	丸	の	名	を	負	ひ		
日	丸	の	名	を	負	ひ		
日	丸	の	名	を	負	ひ		
日	丸	の	名	を	負	ひ		
日	丸	の	名	を	負	ひ		
日	丸	の	名	を	負	ひ		
日	丸	の	名	を	負	ひ		

日本帝國

桑田つねし

七、 變ホ長調の復習



變ホ長調長音階は「變ホ」音を主調音とする長音階で「ホ」と「イ」「ロ」の三音に變記號を有し、ホ長調より各々半音低い調である。

ブラームスの子守歌

Con moto teneramente. Brahms.

一. ネムレ ネムレ ユー
二. ねむれ ねむれ ゆー

メノソノニウールハシーキ ハーナゾサ
めのもりにうつくしき とりぞな

ク アシタ カネノ オトナフマデ ハナ
く ねむれ ちごよ ひとみと ちもり

pp

裝飾音符



ブラームス (Johannes Brahms, 1833-1897) ドイツのハンブルグに生れ、幼少からコントラバスの演奏家であつた父から音楽教育を受け、十四歳でピアノを初演して大成功を博した。シューマンは此の聰明なる少年を非常に愛し、必ずや樂界を左右する人物となるのであらうと激賞した。彼は作曲家を志望し、遂ひに當時の音樂の都ウイennaに出て一生を此所に終つた。彼の作風は始めシューマンに負ふ所が多かつたが、その謙遜着實な性行は古典的傾向を取り、寧ろバッハ、ベートーヴェンに近づいて行つた。評論家ハンスフォン ビューローは之の三人をBの三大家(Bach, Beethoven, Brahms)と稱へてその功績を賞讃した程である。

終世名譽心を捨て、只管良き作品の製作に勵み、その残す處管絃樂・ピアノ曲・ヴァイオリン曲その他美しき二百余の歌謠曲がある。彼は六十餘年の生涯をウイennaに終つた。今もベートーヴェン、シューベルトの墓と程遠からぬ所に葬られてゐる。

Con moto (コンモート) (伊) 感動して、
tenderamente (テネラメンテ) (伊) 柔かに。

森の蔭に	ねむれ稚子よ	歌ひて見よ	鳥ぞなく	ひとみ閉ぢ
夢の森に	眠れ	うつくしき	鳥ぞなく	
花の園に	あしたの鐘の訪ふまで	遊びて見よ	花ぞ咲く	
夢の園に	眠れ	うるはしき	花ぞ咲く	

ブラームスの子守歌

藤村 俊

白百合

Moderato.

J. Brahms.

First system of musical notation on page 12, featuring a vocal line and piano accompaniment. The piano part begins with a *p* dynamic marking.

Second system of musical notation on page 12, including vocal line and piano accompaniment.

一. ミドリ コ キ タニ デーヲツユア ビ テ カヘ
 二. とりどりにいろこくさくはなにまじ

Third system of musical notation on page 12, primarily piano accompaniment.

Fourth system of musical notation on page 12, including vocal line and piano accompaniment.

ル ヒナ ノ ヲトメ ゴーノ カシラ ニ カザ
 る げに こ そソロモンの さかえに まし

Fifth system of musical notation on page 12, primarily piano accompaniment.

First system of musical notation on page 13, including vocal line and piano accompaniment. The piano part features a *mf* dynamic marking.

ステ ヤー マ ノ シ ラ ユ リ キ ヨ キ ソ ノ
 て さ ち あ る し ら ゆ り き よ き そ の

Second system of musical notation on page 13, including vocal line and piano accompaniment.

ス ガ タ ハ ナ ゾ ヲ ト メ ヲ ト メ ゾ ハ ナ
 す が た は な ぞ み か み み か み ぞ は な

Third system of musical notation on page 13, including vocal line and piano accompaniment. The piano part features a *p* dynamic marking.

タ カ キ カ ヲ リ ユ カ シ ノ イ ロ
 た か き か を り ゆ か し の い ろ

Fourth system of musical notation on page 13, primarily piano accompaniment.

[鑑賞曲]
眠りの精

Brahms.

13

二	一	白百合
とりどりに色濃く 實にこそソロモンの 幸ある白百合 花ぞみ神 たかきかをり	緑濃き谿路を 鄙の乙女子の 山の白百合 花ぞ少女 たかきかをり	露あびて歸る かしらに翳す きよきその姿 をとめぞ花 ゆかしの色
咲く花に交る 榮耀にまして 潔きその姿 みかみぞ花 ゆかしの色		

黒澤隆朝

[鑑賞曲]
支那(歌調)

14

Andante.
mp

cresc.

cresc.

mf

p

dim.

[鑑賞曲]
イギリス歌調

15

Moderato.

mp

f

mf

mp

遠 足

ドイツ民謡

Allegro.

mp

一. サ ギ リ ワ タ ル ム ラ ノ ア タ リ カ
 二. そ ら は あ を く や ま は た か く あ
 三. ア ソ ビ ツ カ レ ウ タ ヒ ツ カ レ コ

ナ タ ニ コ ナ タ ニ ト リ ノ コ エ ス レ ド シ
 を ば を ふ く か せ は だ へ に す ず し く セ
 コ ロ ユ ク バ カ リ ス ゴ シ シ ケ フ ノ ヒ コ

バ ノ ト ト ザ シ テ ヒ ト カ ゲ モ ミ エ ズ キ
 み の ね と り の ね し ら べ も お も し ろ み
 コ ロ モ カ ラ ダ モ ス ガ シ ヤ ス ガ シ ヤ ア

ヨ キ キ ヲ ス ヒ テ ア サ ヲ ユ カ シ
 や ま の し み づ を く さ ヲ コ ユ コ チ シ
 カ ク ヒ ニ ハ ヲ ル ア マ タ ノ オ モ

<p>三</p> <p>赤心 心遊 くも ゆび 日身 くつ に體 だば 映も かり ゆるす 歌 數が 過 多し やし の やす 今 面 が 日</p>	<p>二</p> <p>深 蟬 青 空 山 の 葉 は の 音 を 蒼 清 鳥 の 吹 水 の く 山 を 音 風 高 汲 調 肌 高 む も に 涼 心 面 白 しく 地 白 しく や</p>	<p>一</p> <p>清 柴 彼 狭 き の 方 霧 氣 戸 に 渡 を 閉 此 此 吸 して 方 ひて 村 人 雞 の 村 影 影 の の 朝 も 聲 的 を 見 見 声 ゆ 見 見 す かん えず れ ど</p>
---	---	---

遠 足

桑田つねし

八 ホ長調の練習

八分の三拍子のリズム練習

(原調 ト長調)
★ Langsam. *ゆるく、おもく*

16

★ Langsam ラングザム (獨) 緩く、重く。
ドイツ語ヲ發聲法

(原調 ニ長調)

17

(原調 ヘ長調)

18

民 (謠 調)

(原調 ト長調) ドイツ 民謠

19

ロシア (民謠調) *フセズドクトクノ歌*
Mussorgsky.

20

[鑑賞曲]
マンドリンの歌

スペイン 民謠

21

[豫備練習曲]

22

サンタ・ルチア

ナポリ民謡
編者編曲

Andantino.

一. シロキホシハ ウミニテーリ ソヨグ
二. そよかぜーを おもにうけ ふねは
三. ウルハシーキ ヨルノカゲ イヅカ

カゼハ コナミフク ヲブネハヤク ウナモノワタル
ゆーく おともなく こげやともよ おきのかなた
ターニ フネヲトル ウマシヨルヲ ナミニアカサン

サンタールーチーア サンタルチア ヲブネハヤク ウナモノ
サンタールーチーア サンタルチア こげやともよ おきの
サンタールーチーア サンタルチア ウマシヨルヲ ナミニア

延長記号

ワタル サンタールーチーア サンタルチア
かなた サンタールーチーア サンタルチア
アカサン サンタールーチーア サンタルチア

三 麗しき 夜の影
何方に 舟をとむる
うまし夜を 浪にあかさん
サンタールーチア サンタールーチア

二 微風を 面にうけ
舟は行く 音もなく
漕げや友よ 沖のかなた
サンタールーチア サンタールーチア

一 白き星は 海に照り
そよぐ風は 小波吹く。
小舟疾く 海面わたる
サンタールーチア サンタールーチア

サンタ・ルチア

水田詩仙

九、 八分の六拍子の練習

6/8

(原調へ長調)

23

24

25

[参考曲]

ロオレライ

近藤朝風 歌
Silcher. 曲

26

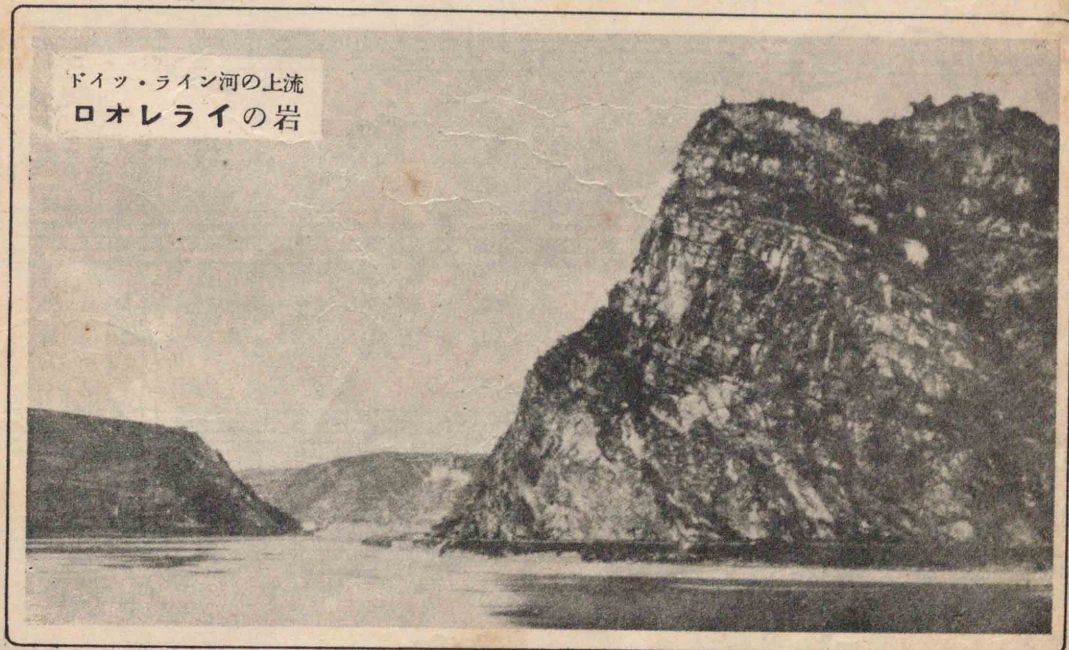
一. ナ ジカハシーラ ネ ド コ コ ロワビテ ム カシノツータ
 二. う るはしをーと め の い は に た ち て こ が ね の く し
 三. コ ギ ユ ク フ ナ ビ ト ウ タ ニ ア コ ガ レ イ ハ ネ ミ ヤ

へ ハ ソ ズ ロ ミ ニ シ ム サ ビ シ ク ク レ ユ ク ラ
 と り か み の み だ れ を と き つ つ く ち ず さ ぶ う
 ラ ズ ア フ ゲ バ ヤ ガ テ ナ ミ マ ニ シ ャ ム ル ヒ

イ ノ ナ ガ レ イ リ ヒ ヤ マ ヤ マ ア カ ク ハ ユ ル
 た の こ ゑ の く す し ち から に た ま も ま よ ふ
 ト モ フ ネ モ ク ス シ マ ガ ウ タ ウ タ フ ロ オ レ ラ イ



ジルヘル (Friedrich Silcher, 1789-1860) 有名なる歌謡曲作家でドイツのツェルテンベルヒのシユナイトに生れ、初め父から音楽教育を受けた。最初教育家となる積りで師範教育を受け、学校教師となつたが、意を翻へして作曲家となり1815年にはストットガルトで指揮者の位置を得た。それから一年後チュービンゲン大學の指揮者となり、生涯をこの地で送つた。「ロオレライ」の曲は最も知られてゐるが、此の外にも美しい數多の歌曲を出版して名聲を博した。



ドイツ・ライン河の上流
ロオレライの岩

深山路

ドイツ曲
編者 編曲

Moderato.

mf

一.ミ ヤー マチ ハ ル カニ フ ミ ワケ イ レ バ キ
二.み やー まぢ は る か に ふ み わ け い れ ば め

f

クーダニ スズ シキ タニ ノ ナ ガ レ ー ツ
もーあや に さ ける し ろ き さ ゆ り ー み

rit. *p*

ツー ミ ナー ス シ ラ ベ ク マー バ ター エ ヌ ベ シ コ
やー ま の ー め が み の 忍 ふー で の ー す さ び か お

mf a tempo *cresc.*

コ ロ ハー マ ヨ ヘ ド ウ ル ハ シー ビ ビ キ ニ ツ
も ひ は ー の こ れ ど め で た き ー か を り を そ

f *rit.*

カ ー レ シー ノ ビ テ ク マー テ カ ヘ ラ ム ー
でー に ひ ー た し て を ら ー で か ヘ ら む ー

深山路

一 深山路
ふみはるかに
はるかに
入れば
流る

二 深山路
ふみはるかに
入れば
早百合

鼓なす調
涼しき
絶えぬべし

聞くに
涼しき
入れば
流る

心はまよへど
うるはしひど
疲忍びて
涙まで
歸らむ

袖に
ひたして
折らで
歸らむ

深山路

黒澤隆朝

[鑑賞曲]

歌劇「トロバトーレ」より

Verdi.

27

Musical score for Verdi's 'Trovatore' in 6/8 time, featuring three staves of music.

[鑑賞曲]

歌劇「ボヘミアの少女」の歌調

M. Balfe.

28

Allegro. *mf*

fine. *p* *D.C.*

29

Andantino.

Delgado
トロバトーレ

Musical score for M. Balfe's 'Bohemian Girl' in 6/8 time, featuring three staves of music with tempo and dynamic markings.

十 聲 樂

聲 樂

聲樂は何人にも共有の天與の尊い聲音による音樂で、他の樂器と異なり、言葉を語る事が出來、且つ喜怒哀樂を端的に表現出來る點が聲樂の特色である。

聲 域

人聲は兒童と大人、男性と女性等によつて聲音の高さの範圍が異なる。婦人及び變聲期前の男兒の聲域は男の成人の音高より八音(一オクターフ)高い事は日常の會話によつても知られる通りである。又その聲域は個人によつてもそれぞれ差異あるもので之を大體高音、中音、低音の三様に區分して各々の聲種をその孰れかに附屬せしめる。

(兒童の聲域は女聲に準ず)

A diagram showing the vocal ranges for male and female voices on a musical staff. The male ranges are Bass, Baritone, and Tenor. The female ranges are Alto, Mezzo Soprano, and Soprano.

男聲低音 (Bass) 男聲中音 (Bariton) 男聲高音 (Tenor) 女聲低音 (Alto) 女聲中音 (Mezzo Soprano) 女聲高音 (Soprano)

聲樂の諸型式

聲樂には獨唱(Solo) 重唱(Ensemble) 合唱(Chorus)等があり、獨唱は常にその和音を補ふ爲めに樂器の伴奏を伴ふ。重唱には二重唱・三重唱・四重唱・五重唱等があり、單聲(男聲のみ又は女聲のみ)又は混聲にて各聲部は一人宛各々異なる旋律を歌ひ、その個性美とハーモニーの美とを味はふものである。

- 二重唱 (Duetto)
- 三重唱 (Trio)
- 四重唱 (Quartetto)
- 五重唱 (Quintetto)

合 唱

合唱とは各聲部が二名以上の人員を有する時の稱呼で聲樂の極致である。

合唱にも種々の編成型式がある。

單聲合唱

女聲合唱
(Female Chorus)

男聲合唱
(Male Chorus)

二部合唱	{	Soprano	又は	Tenor
		Alto		Bass

三部合唱	{	Soprano I.	又は	Tenor I.
		Sopsano II.		Tenor II.
		(Mezzo Soprano)		(Baritone)
		Alto		Bass

四部合唱	{	Soprano I.	又は	Tenor I.
		Soprano II.		Tenor II.
		Alto I.		Bass I.
		Alto II.		Bass II.

混聲合唱
(Mixed Chorus)

混聲四部合唱	{	Soprano	普通女聲は三部合唱、男聲 は四部合唱が最も多い。 此の外混聲の二部、又は三 部の合唱もある。
		Alto	
		Tenor	
		Bass	

合唱曲

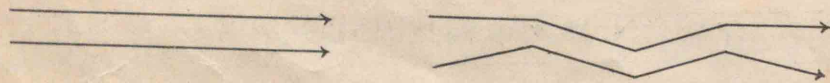
合唱曲の初歩のものはソプラノにメロディがあり、他の聲部は單に和音を補充すに過ぎないものであるが、曲が高級となるに従ひ、各聲部が孰れも自由な進行をとり、美しいメロディを歌ひながら、然も統一されたハーモニーの美を構成する事が出来るのである。此の妙味こそ音楽の最高至純の美である。

十一、二聲音の進行

二つの聲音部が同時に進行する時次の三種の形がある。

並進行

A 並進行 二聲が並行し又は上行下行共に同方向に進行する場合。



斜進行

B 斜進行 一聲音が同度に固定し他の聲音が上行又は下行をなす場合。

反進行



多くの樂曲はこの三様式を適宜に混用して作られる。

十二、二部合唱の練習

同音開始・終止

30

31

32

33

八度開始


34


Moderato.


三度開始

G. Rossini.

35

36 

37 

38 


森に行かん

<p>二</p> <p>森にゆかん あゝの森</p> <p>入日赤く 草に落ちて</p> <p>野邊の花は 頭を垂れ</p> <p>諸手をのべまねくを あゝの森</p>	<p>一</p> <p>森にゆかん あゝの森</p> <p>入日赤く 梢そめて</p> <p>鳩の群は 彼方此方</p> <p>鳴きかはして招くを あゝの森</p>	<p>水田詩仙</p>
--	--	-------------


森に行かん

Andantino.


フランス 民謡



一. モリニ ユーカーン アノモリ イリヒ アーカーク
二. もりに ゆーかーん あのもり いりひ あーかーく



コズエ ソーメーテ ハトノムレハ カナタゴナタ ナキカハシテ
くさに おーちーて のべのはなは かしらをたれ もろてをのべ



マ ネ ク ラ モリニ ユーカーン アノモリ
まねくを もりに ゆーかーん あのもり

虫に寄せて

Wrighton.
編者 編曲

Espressivo Moderato.

mf *p*

mp

一ソナレノマツノコズエニスメルイサ
二すすきのつゆをそでにかきわけしら

mp *a tempo*

mf

ヨヒツキノカガミノオモニウツロフカゲ
ベきそひてなくむしのねをおひにしとも

mf

mp

ソ
ウツロフワガナキトモノカタラフカゲカエマ
おひにしうなあのころのそのおもかげもいま

rall. *f* *a tempo* *mp*

ヒノサマカオトナフコエノチチニミダレ
はむなしくやみぢをはるかさりにしとも

rall. *a tempo* *mp*

cresc. *f* *mp*

テツキヨリヒビクムシノネアハレ
よこぼるるつゆになみだをそそる

cresc. *sf* *mp*

虫に寄せて

水田詩仙

一 磯馴の松の梢に澄める
十六夜月の鏡の面に
うつろふ影ぞわがなき友の
(うつろふ) かたらふ影か笑ひのさまか
訪ふ聲の千千に亂れて
月よりひびく虫の音あはれ

二 芒の露を袖にかきわけ
調競ひてなく虫の音を
追ひにし友ようなるの頃の
(追ひに) その面影も今は空しく
闇路をはるか去りにし友よ
こぼるる露に涙をそそる

ボートの唄

H. Aller.
編者 編曲

Tempo di Valse. Dolce.

First system of piano accompaniment for the introduction, featuring a treble and bass clef with a key signature of one sharp (F#) and a 3/4 time signature.

ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ
一. コゲヤ コゲカハナ ミウニトベ
二. こげや こげ、きしベに さかりにほ

Vocal line and piano accompaniment for the first system of lyrics, with lyrics written in hiragana.

Second system of piano accompaniment, starting with a piano (p) dynamic marking.

ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ
バフネハヤノゴートクミノモ
ふはなはてをのべてわれを

Vocal line and piano accompaniment for the second system of lyrics.

Third system of piano accompaniment.

ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ
ハシルコゲコゲコゲ
まねく コゲコゲコゲ

Vocal line and piano accompaniment for the third system of lyrics.

Fourth system of piano accompaniment.

ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ
ナミハシロク フネノア
かぜはきよく ー かほをか

Vocal line and piano accompaniment for the first system of lyrics on page 35.

ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ
トニメナガクツラナル
すめこころさはやか

Vocal line and piano accompaniment for the second system of lyrics on page 35.

ボートの唄
桑田つねし

一 漕げや 漕げ
川波 腕に飛べば
舟は矢の如く 水面走る

二 漕げや 漕げ
岸邊に さかり匂ふ
花は手をのべてわれを招く
波は白く
舟の後に長くつらなる

漕げ 漕げ 漕げ
風は清く
顔を掠め心さはやか

[参考曲]
Old Folks at Home

(Swanee Ribber)

by Foster.
Dvořák.

Moderato. *p*

Way down up-on de Swa-nee Rib-ber, Far, fal a-way,
All up and down de whole cre-a-tion, Sad-ly I roam,

humming obbligato

Dere's wha'my heart is turn-ing eb-ber, Dere's wha'de old folks stay.
Still long-ing for de old plan-ta-tion, And for de old folks at home.

pp

All de world am sad and drear-y Eb'-ry-whar' I roam,

rit.

Oh dar-kies, how my heart grows wear-y Far from de old folks at home.

a tempo *mf* *dim. e rall.*

a tempo *poco rit.* *dim. e rall.*



フォスター (Stephen Foster (1826-1864)) アメリカの民謡作曲家で、我が國の學校唱歌として採用されてゐる旋律が多数ある。次の曲はその主なものである。

Old Black Joe

Poco adagio.

My old Kentucky Home

Massa's in de cold Ground

Old Folks at Home



シューマン (Robert Schumann, 1810-1856) 父は南ドイツのツィカウで書肆を営んでゐる文學に明るい人であつた。

彼は五人兄弟の末子に生れ六歳の頃から師について音楽を學んだが後法律家になる目的でライプツヒ大學に入學した。然し音楽を捨てる事ができず、ウィーク (Wieck) についてピアノを學んだ。過度の勉強から右手の指を損じ、ピアニストを断念して作曲に志した。その残す所種々なるピアノの曲の外百數十の歌謠曲その他合奏曲等多數ある。シューマンの功績として看過することの出来ないのは彼の音楽評論である。彼は友人と語つて音楽雑誌を創刊しロマン派の音楽開拓指導にあたり不遇だつたシューベルトを賞揚して之に偉大なる位置を與へ、ブラームス、ショパンの如きを誘導して大成させたのは實に彼の一管の筆の力であつたのである。

[鑑賞曲]

Moderato.

トロイメライ

R. Schumann.

40

rit. *a tempo* *rit.* *a tempo*

[鑑賞曲]

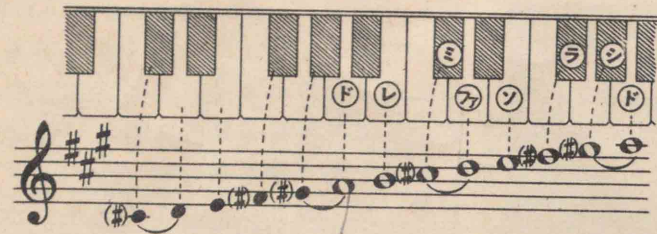
Allegro.

軍隊行進曲

R. Schumann

41

十三、イ長調の練習



(原調 二長調)

Moderato.

42

[鑑賞曲]

歌劇「ノルマ」中の行進曲

Bellini.

43

[鑑賞曲]
歌劇「椿姫」より

Verdi.

44

[鑑賞曲]

「ピアノソナタ」の主題

Mozart.

Andante grazioso. (♩ = 120)

45

樹陰の泉

ドイツ 曲

Andantino.

Musical notation for the first system, including vocal line and piano accompaniment.

Musical notation for the second system, including vocal line and piano accompaniment.

Musical notation for the third system, including vocal line and piano accompaniment.

一. コカゲノイツミニハマコトノトモアリココロ
 二. こかげのいづみにハまことのともありこころ

一. ワキイツ
 二. るりな

カナシーキートキキタレイサトモヨ
 たのしきときたれいざともよ

Musical notation for the first system of the second page, including vocal line and piano accompaniment.

Musical notation for the second system of the second page, including vocal line and piano accompaniment.

ルす 一 ナミろ ダこ トび *mf*
 ルミ ナワーハ ツキーヌ ナミダート トモニ
 すみ なそこに あふる る よろこび ちよろ

ウレヒトモニカーナシムソノマーゴコロ
 ブのなみうちこーとほぐそのまごころ

二 一

その眞心
 千 璃 心 樹 樹 樹
 萬 瑠 樂 陰 陰 陰
 の な し し の の の
 波 ず し き の の の
 う 水 時 泉 泉 泉
 ち 底 時 には 泉 泉
 うち 底 時 には 泉 泉
 こと 溢 來 眞 眞 眞
 ぼ る れ い の の の
 ぐ る り ざ 友 友 友
 喜 歡 友 友 友
 喜 喜 友 友 友

樹陰の泉には 眞の友あり
 心かなしき時 來れいざ友よ
 湧き出づる水泡は 盡きぬ涙と
 ともに憂ひ ともに哀しむ
 その眞心

樹陰の泉には 眞の友あり
 心かなしき時 來れいざ友よ
 湧き出づる水泡は 盡きぬ涙と
 ともに憂ひ ともに哀しむ
 その眞心

樹陰の泉
 黒澤隆朝

[参考曲]
惜 時
(三部輪唱)

46

一. ハ ナ モ ミ ダ チ リ ヌ レ ド ハ ル モ ア キ モ マ タ キ ナ ム
 ニ. み づ の ご と な が れ つ つ い に し と し は か へ り こ ず

ユ キ ホ タ ル キ エ ヌ レ ド ナ ツ モ フ ユ モ マ タ キ ナ ム
 ヤ の ご と く は し り つ つ す ぎ し つ き は か へ り こ ず

サ ハ サ ナ リ サ リ ナ ガ ラ ヒ ト ノ ミ ニ ハ ハ タ イ カ ニ
 を し む べ き と し つ き や つ と め は げ め と き の ま も

十四、四部輪唱の練習

47

48

49

50

Allegro. ♩ = 126.

A. Mozart.

51

生 ^い 響 ^き 遠 ^{とほ} そ	夜 ^よ あ森 ^{もり}	皇 ^み 眞 ^ま 黄 ^{わう} そ	朝 ^あ あ森 ^{もり}	
ぼけくくのぼのれに	ぼのれに	ぼ國 ^{くに} 白 ^{しろ} 金 ^{かね} のぼのれに	ぼのれに	鳩 ^{とび}
つるそ砧 ^{せせ} 聲 ^{こゑ} つ	氣 ^き よ月 ^{つき}	つ安 ^{やす} の白 ^{しろ} 聲 ^{こゑ} つ	氣 ^き よ日 ^ひ	
ぼ萬 ^{まん} のうあぼはかい	ぼはかい	ぼか鳩 ^{とび} 金 ^{かね} あぼは空 ^{そら} は	ぼは空 ^{そら} は	
象 ^{ぞう} 聲 ^{こゑ} つは澄 ^{すみ} なで	れこには清 ^{しみ} 高 ^{たか} さ	れこには清 ^{しみ} 高 ^{たか} さ	れこには清 ^{しみ} 高 ^{たか} さ	
ぼははれぼみたて	ぼとそれぼくくし	ぼとそれぼくくし	ぼとそれぼくくし	
つやつてよ	つやつて	つやつて	つやつて	泉 ^{いずみ}
ぼぼり	ぼぼ	ぼぼ	ぼぼ	
啼 ^{なげ} 安 ^{やす} 天 ^{あま} 音 ^ね 聞 ^き 啼 ^{なげ} 聲 ^{こゑ} ふ	葉 ^は 蔭 ^{かげ}	啼 ^{なげ} み平 ^{ひら} 翼 ^{よく} 森 ^{もり} 啼 ^{なげ} 聲 ^{こゑ} 群 ^{ぐん} 樹 ^{じゆ}	啼 ^{なげ} み平 ^{ひら} 翼 ^{よく} 森 ^{もり} 啼 ^{なげ} 聲 ^{こゑ} 群 ^{ぐん} 樹 ^{じゆ}	藤 ^{ふじ}
くく地 ^ち にをくもく蔭 ^{かげ}	く空 ^{そら} 和 ^わ かをくもれ樹 ^き	く空 ^{そら} 和 ^わ かをくもれ樹 ^き	く空 ^{そら} 和 ^わ かをくもれ樹 ^き	
ねにあめさろま	翔 ^{はば} のがめ爽 ^{さわ} 飛 ^と は	翔 ^{はば} のがめ爽 ^{さわ} 飛 ^と は	翔 ^{はば} のがめ爽 ^{さわ} 飛 ^と は	村 ^{むら}
む満 ^{まん} やぐるえふば	り神 ^{かみ} やぐるやぶ輝 ^{あかり}	り神 ^{かみ} やぐるやぶ輝 ^{あかり}	り神 ^{かみ} やぐるやぶ輝 ^{あかり}	
れつなるわななり	つけるか鳩 ^{とび} き	つけるか鳩 ^{とび} き	つけるか鳩 ^{とび} き	
よし	つるにぬ	つるにぬ	つるにぬ	俊 ^{とよ}
とてりり				

鳩と梟

♩ = 112.

M. Hauptmann.

mf

一. モリニ ヒハサシ テキギハ カガヤキ ヌアレヨ
 二. もりに つきいで てはかけ まばらなりあれよ

ソラタ 一カク ムレトブ ハト アサノ
 かなた 一より ふくろふ なく よるの

mf

一. モリニ ヒハサシ
 二. もりに つきいで

キハキヨ クコエモ サワヤカニ ホッホッホッ
 きはすみ てこゑも さえわたり ほっほっほ

テキギハ カガヤキ ヌアレヨ ソラタ 一カク
 てはかけ まばらなりあれよ かなた 一より

ホ ナク ソノ コーエ ア
 ほ なく その こゑ あ

ムレトブ ハト アサノ キハキヨ クコエモ
 ふくろふ なく よるの きはすみ てこゑも

mf

一. モリニ ヒハサシ テキギハ カガヤキ
 二. もりに つきいで てはかけ まばらな

ハレーヤモリヲメグルコガネ
はれーややみをめぐるとほく

サワヤカニポッポポッポナク
さえわたりほっほほっほなく

ヌアレヨソラタ一カクムレトブハト
りあれよかなた一よりふくろふなく

シロガネニツバサカガヤケルマシロノハト
きぬたうつおとにあやなしでひびくそのこ

ソノコーエアハレーヤモ
そのこーゑあはれーやや

アサノキハキヨクコエモサワヤカニポッ
よるのきはすみてこゑもさえわたりほっ

一こそヘイワノカミミクニヤスカレ
一ゑはてんちにみついけるものみな

リヲメグルコガネシロガネニツバサ
みをめぐるとほくきぬたうつおとに

ポッポッポナクソノコー
ほっほっほなくそのこー

トミソラカケリツツポッポポッポナク
はやすくねむれよとほっほほっほなく

カガヤケルマシロノハト一こそヘイワノカミ
あやなしでひびくそのこ一ゑはてんちにみつ

エアハレーヤポッポポッポナク
ゑあはれーやほっほほっほなく

(原調 へ長調)
Allegretto.

勉め 勵め

Fr. Silcher.

一 ツトメ ヨハゲ メ ヨ ワ ガ ヒ ノ モ ト ノ マ ナ ビ ノ ト モ
二 つとめよはげめよ わがひのもと の まもり のとも

ヨ トウ サ イ ブ ン ク ソ ノ ス キ ア ツ メ テ サ カ
よ ばん せ い ふ え き た く ひ も あ ら ぬ か み

ユ ル ク ニ ゾ ー コ レ コ ソ ワ ガ ク ニ イ サ イ ザ タ タ ヘ ン ア
の み く に ゾ ー こ れ こ そ わ が く に い ざ い ざ ま も ら ん あ

一 ケ ハ シ ミ ク ニ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ツ ト メ ハ ゲ メ ヨ
二 マ シ ミ ク ニ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ つ と め は げ め よ

	二		一	
ラ	是	萬	我	勉
ラ	こ	世	が	め
ラ	そ	不	日	よ
ラ	わ	易	の	勵
ラ	が	の	本	め
ラ	み	の	の	め
ラ	國	そ	の	よ
ラ	美	い	た	護
ラ	し	ざ	ぐ	り
ラ	み	い	ひ	の
ラ	國	ざ	も	友
ラ	い	ま	あ	よ
ラ	ざ	も	ら	ぬ
ラ	い	ら	ん	
ラ	ざ	ら		
ラ	ま	ら		
ラ	も	ら		
ラ	ら	ら		
ラ	ん			
	是	東	我	勉
ラ	こ	西	が	め
ラ	そ	文	日	よ
ラ	わ	化	の	勵
ラ	が	の	本	め
ラ	み	そ	の	よ
ラ	國	い	そ	學
ラ	い	ざ	の	び
ラ	ざ	た	粹	の
ラ	た	た	鐘	友
ラ	へ	て	め	よ
ラ	ん			

桑田つねし

十五、短調の練習

次の二つの曲を見るに一はドの音で完全に終つたやうに感じ、他はラの音で完全に終つたかのやうな感じを與へる。

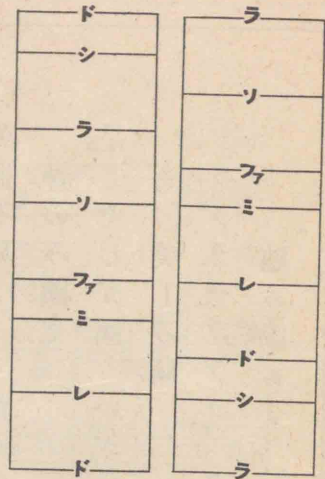
甲

乙

長調
短調
長音階
短音階

此の場合ドで終つた方を長調の曲といひ、後者のラで終つた方を短調の曲といふ。
又ドを基礎として配列された八音の音列は長音階である事は前に述べたが、ラを基礎として配列された八音の音列を短音階といひ短調の曲は此の音階によつて作られる。

そしてこのド及びラはそれぞれ長音階又は短音階の第一音をなすものでこの所在によつて調が決定される。即ち甲圖の長調に於いては調の第一音即ちドがハ音上にある故之をハ長調の曲といひ乙圖の短調に於いてはその調の第一音即ちラがイ音上にある故イ短調の曲と呼ぶのである。此の各々の第一音ド・ラは孰れも主調音である。此の場合此の長短二調は同じ譜表を用ひる。此の如き長短二調を關係調と呼び各一方よりそれぞれ關係短調、關係長調と呼ぶものである。



關係調

乙圖の例曲の後半を次の(a)の様に歌ふ時はラの音が主調音としての力を失ひ、随つて短調としての感じを失ふ。今假りに(b)の如くソの音を半音上げる時はラ即ち

主調音の性質が明かに感じられて来る。之は嬰ト音が主調音と半音の關係となり、主調音に誘導するやうな性質を帯びて来たからで、此の際嬰ト音を導音と呼ぶ。

ラを第一音とした自然音のみの短音階には導音がないが短調の曲は常に第七音を半音上げて導音とし主調音に入る。此の場合は臨時に半音上げる記號を用ひて、

導音

その都度導音を示す。

樂曲と調

樂曲には長調のみ又は短調のみの同一調で終始する單純なものもあり、關係調を巧み採り入れて長短調を交錯させ、曲に變化を與へるもの、或ひはその他の調に巧みに轉ずる事によつて、効果を一層擧げやうとするものもある。之を轉調といふ。學習者は常に調について充分なる注意を拂はねばならない。

轉調

52 Adagio. Schumann.

53 Moderato.

54 Andantino. ウェールス 民謡

★ 發想標語に注意。

☆ 印の部分の調は何調か。

暮の鐘

ホヘミヤ 民謡
編者 編曲

Lento.

一. ユ フ ガ ラ ス ヒ ト ツ ト モ ノ
二. む ら す ず め さ り て か ど た

ユ ク ヘ ヨ ビ テ カ ケ ル ソ ラ
さ む く く れ ぬ ゆ ふ づ つ は

クレ チ カ ク サ ト ノ ヒー モ マ バ ラ
か が や か に ふ ゆ ぞ ら ー に か か り

イ ツ チ ヨ リ ツ タ ヘ ク ル
よ ひ や み の や ま の は を

カ ネ ノ オー ト サ ム シ
か ね の おー と な が る

暮の鐘

一 夕鳥一つ 友の行方呼びて
翔る空 暮近く
里の灯もまばら
いづちより 傳へくる

二 鐘の音 さむし
群雀去りて 門田寒く暮れぬ
夕づつは かがやかに
冬空に かかり
宵闇の 山の端を
鐘の音 流る

水田詩仙

海國日本

Allegretto.

Fr. Kücken.

一. カイコクニホンノサカエヲミヨ
二. かいこくにほんのほまれをみよ

ヤチノリヲミヨヤバンリニツラナ
やせいきをみよややまなすどたう

ルアヲウナバーラーゾムゲンノトミ
もこさふくかーぜーもーおそれずす

ヲタタヘテフカキワガハラカラノイタルガママ
むせいぎのみふねあさひのはたのひらめくかぎ

ニトウザイナンボクコレワガクニノフコクノハウ
りしかいはてにへいわかがやくかいこくにほ

コゾコレコ一ソトハニツキヌハウコ
んぞせかい一のまもりふるひはげめ

海國日本

一
海國日本の榮を見よや
地の利を見よや
萬里に連なる青海原ぞ
無限の富を湛へて深き
吾が同胞のいたるがままに
東西南北これわが國の
富國の寶庫ぞ
これこそ永久に盡きぬ寶庫

二
海國日本の譽を見よや
正氣を見よや
山なす怒濤も胡沙吹く風も
恐れず進む正義の皇艦
朝日の旗のひらめくかぎり
四海の涯に平和輝く
世界の守護奮ひ勵め

藤村俊

十六、 樂典の智識

一 譜表の組合せ

低音部記號
低音部譜表
へ音記號

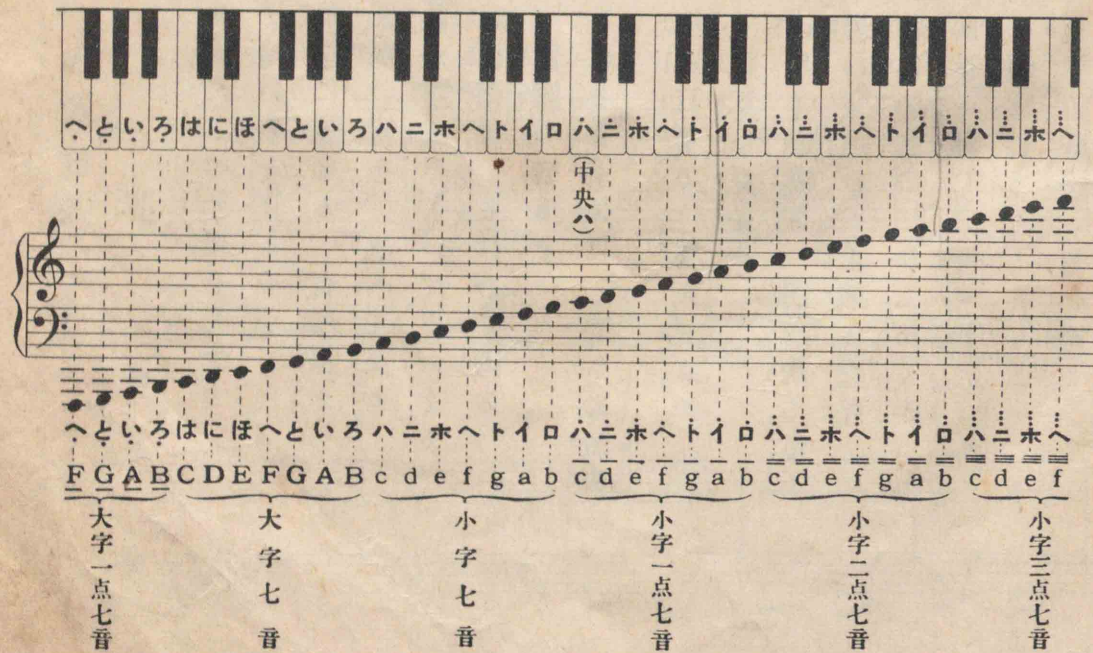
譜表には高音部譜表の他に**低音部記號**を有する**低音部譜表**もある。低音部記號は第四線をへ音と決定するに用ひられる故**へ音記號**とも言ふ。



單獨なる譜表は多數の音を記入するに不便なる故、二箇以上の譜表を併用する事がある。ピアノ、オルガンの樂譜は高音部譜表と低音部譜表とを連合して用ひ之を**大譜表**といふ。

大譜表

大譜表は次の圖の如く二つの譜表の間に加線一本を設けて之を連絡せしめる。此の加線はへ音に相當し且つ樂器の鍵盤に於ても略々中央に存する故**中央へ音**とよぶ。



大譜表の外伴奏譜を伴ふ獨唱曲の如き、合唱、合奏曲の如きによつてそれぞれ特異なる配合をなす。

[混聲四部合唱曲例]



[絃樂四部合奏曲例]



中音部記號

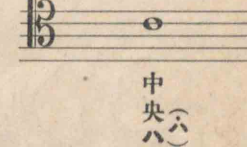
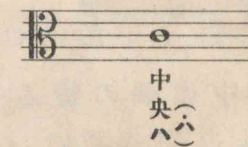
高音部記號と低音部記號の外に**中音部記號**といふものも合奏樂（稀に合唱曲にも）に用ひられる。之は**中央へ音**の位置を決定する故**へ音記號**といふ。

へ音記號

ソプラノ記號

アルト記號

テノール記號



ソプラノ記號
アルト記號
テノール記號

之はその位置によつてそれぞれ**ソプラノ記號**、**アルト記號**、**テノール記號**とよばれる。

二 音高に變化を與へる記號

音樂に用ひる音は本位音（ピアノの白鍵に相當する音）のみでは自由なる表現が出来ない故之に半音的變化を與へて表現を自由にする。之に用ひる記號を**變位記號**といひ三種ある。

變位記號

= 嬰記號 (Sharp. シャープ)半音高く

b = 變記號 (Flat. フラット)半音低く

♮ = 本位記號 (Natural. ナチュラル)本位音にかへす

臨時記號

變位記號の用法に二種あり、一は曲中に随時に用ひられるもので之を臨時記號といひ、その效力はその小節間（但しその音より右方に）にのみ生ずる。



(b)(d)の本位記號は無意味であるが往々奏者の注意を引くために添へることがある。

他は調號としての用法で、此の場合は曲首に出して調を決定し、最後まで有効なるものである。

調號



曲の途中に調の變る（轉調）時には複縦線を劃し、調號をつけかへることがある。



三 變位記號と鍵盤

上行の音階に嬰記號を用ひ、又は下行の音階に變記號を用ひて半音のみの音階を作る事が出来る。之を半音階といふ。之に對して全音を主とせる長音階、短音階の如き音階を全音階といふ。而してオクターヴを十二の半音に正しく分ける調律法を平均律といひ、現代の樂器は皆之によるのである。

半音階

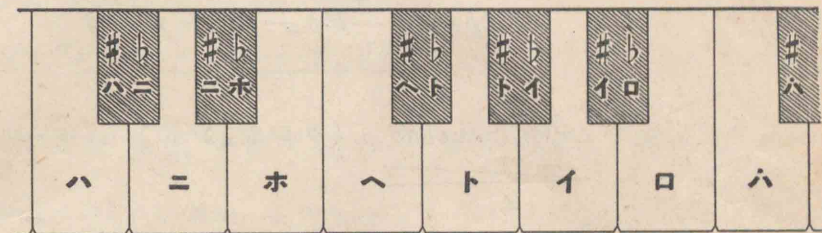
全音階

平均律



異名同音

半音階に於いて嬰ハと變ニとは名稱が異つてゐて實際は同音である。此の様な關係にあるものを異名同音といひ、一箇の黒鍵で兩音を共有するものである。



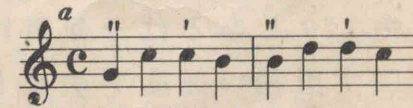
四 切分音（シンコペーション）

切分音 (シンコペーション) Syncopation

一定の拍子の進行に變化を與へる爲め強聲部の位置を任意に替へて異つた拍子の感じを與へる事がある。之を切分音といふ。

今四拍子の(a)の譜の同高度にある弱聲部より強聲部へ弧線をもつて(b)の如く連合させる時は強聲部（アクセント）が初めの音符に移り(c)の如き結果となる。この弧線を特に連合線（Tie）といふ。

連合線 タイ (Tie)



五 強弱を示す標語及び記號

強弱標語

音及び樂曲の強弱の程度を表はすには次の如き種々

の標語又は記號を用ひる。

- p* *piano* (ピアノ) 弱く
- f* *forte* (フォルテ) 強く
- pp* *pianissimo* (ピアニッシモ) 最も弱く
- ff* *fortissimo* (フォルティッシモ) 最も強く
- mp* *mezzo piano* (メゾピアノ) 稍弱く
- mf* *mezzo forte* (メゾフォルテ) 稍強く

~~~~~  
*pp* — *p* — *mp* — *mf* — *f* — *ff*  
 ~~~~~

cresc. crescendo (クレシェンド) 次第に強く

decresc. decrescendo (デクレシェンド) 次第に弱く

dim. diminuendo (ディミヌエンド) 次第に弱く

>又は *sf*

sforzando (スフォルツァンド) 特に強く

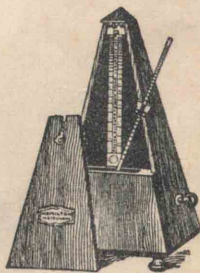
六 メトロノームと速度標語

メトロノーム

楽曲の速度を正確に規定する機械をメトロノーム (Metronome) といふ。

♩ = 120 とあるは一分間に四分音符を百二十箇拍つ速度を表はし、

M.M. ♩ = 148 とあるはメルツェルのメトロノーム (Mälzel's Metronome) によつて一分間に八分音符百四十八箇拍つ事を示すものである。



その外楽曲の速度は伊太利語をもつて示される事がある。之を速度標語といひ曲首に添へる。

速度標語

Lento (レント) 徐々に

Largo (ラルゴ) 緩かに廣く

Larghetto (ラルゲット) 遅く (ラルゴより少し速く)

Adagio (アダージョ) 遅く (アンダンテより少し遅く)

Andante (アンダンテ) 併歩調に (やや遅く)

Moderato (モデラート) 中庸に (程よく)

Allegretto (アレグレット) 稍速く (アレグロより少し遅く)

Allegro (アレグロ) 快速に

Presto (プレスト) 急速に

Vivace (ヴィヴァーチェ) 快速に

標語は二三語を合成させて用ひる事が多い。例へば

Allegro moderato (アレグロ モデラート) 程よく速く

Allegro ma non troppo (アレグロ マノン トロppo)

快速にしかし速すぎぬ様に

Allegro assai (アレグロ アッサイ) 極めて快速に

Allegro molto vivace (アレグロ モルト ヴィヴァーチェ)

快速に極めて快速に

又楽曲の一部分の速度を示す場合には隨所に次の様な標語を用ひる。

rit. ritardando (リタルダンド) 次第に遅く

rall. rallentando (ラレンタンド) 次第に遅く

riten. ritenuto (リテヌート) 速度を幾分ゆるめて

a tempo (アテンポ) 本来の速度に

poco a poco (ポコ アポコ) 漸次に (他の語に添へて)

più mosso (ピューモッソ) 更に速度をまして

accel. accelerando (アツチェレランド) 次第に速く

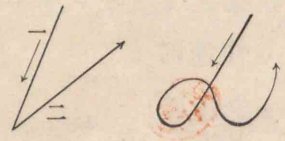
string. stringendo (ストリンジェンド) 同上

七 拍 節 法

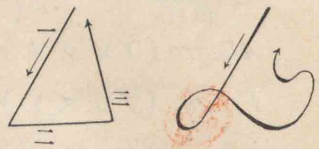
拍 節 法

合唱又は合奏に當り指揮棒をもつて正確なる拍子を示し、且つアクセントの所在、強弱、速度等を示す方法を拍節法といふ。棒の運動形式は大體次の如くである。

二 拍 子



三 拍 子

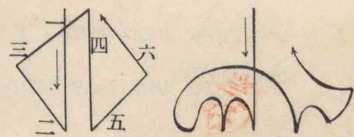


(急速なる四拍子、六拍子にも用ひられる)

四 拍 子



六 拍 子



八 曲 想 に 關 する 標 語

發 想 標 語

曲想を示すには曲首又は適當なる箇所に、多く伊太利語を以て記される。此を發想標語といふ。今その重要なものを示すに止める。

- Agitato* (アジタート)..... 感情をもつて
- Animato* (アニマート)..... 生き生きと
- Brillante* (ブリルランテ)..... 光輝を以て
- Cantabile* (カンタービレ)..... うたふが如く
- con brio* (コン ブリオ)..... 生氣をもつて
- con moto* (コン モート)..... 感情を以て
- Dolce* (ドルチェ)..... 柔かに
- Doloroso* (ドロローソ)..... 悲調を以て
- Espressivo* (エスプレッシーヴォ)..... 表情をこめて

- Furioso* (フリオーソ)..... 勇壯に
- Grave* (グラヴェ)..... 莊重に
- Grazioso* (グラツィオーソ)..... 快活に
- Fuoco* (フオーコ)..... 急速に熱心に
- Legato* (レガート)..... 圓滑に
- Leggiero* (レジェーロ)..... 輕快に
- Maestoso* (マエストーソ)..... 莊嚴に
- Passionato* (パッショナート)..... 感動して
- Scherzando* (スケルツァンド)..... 輕快に
- Sostenuto* (ソステヌート)..... 各音を充分保つて
- ten.=tenuto* (テヌート)..... 同 上
- Tranquillo* (トランクイロ)..... 平穩に
- Vigorouso* (ヴィゴローソ)..... 力強く
- Vivo* (ヴィーヴォ)..... 勇壯活潑に

發想標語は往々速度標度と連ねて用ひられる。

- Andante cantabile* (アンダンテ カンタービレ).....
やや遅くうたふが如く
- Adagio espressivo* (アダージョ エスプレッシーヴォ).....
遅く感情をこめて
- Andante tranquillo* (アンダンテ トランクイロ)..... やや遅く平穩に

昭和七年七月二十三日
昭和八年七月二十六日
昭和八年二月十七日
印刷發行
修正再版印刷
修正再版發行

不許
復製
轉載

標準女子音樂教科書

第一編	定價金六拾錢
第二編	定價金六拾五錢
第三編	定價金六拾五錢
第四編	定價金七拾錢
第五編	定價金七拾五錢

著者

黑澤 幸一 朝朗

東京市芝區松本町四十四番地

會社 共益商社書店
代表者 白井保男

共益商社書店印刷部

發行者兼

印刷所

發行所



東京市芝區松本町四十四番地
會社 共益商社書店

電話三田四〇五六・四〇五七
振替東京壹五八〇

福山高女二五

三好律子

三好律子

広島大学図書

0130449393

